

令和 4 年度定期監査報告書

浜中町監査委員 串 田 明

浜中町監査委員 成 田 良 雄

1 監査の範囲

令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 9 月 30 日までに執行された財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理

2 監査の方法

上記「1 監査の範囲」について、関係法令等及び予算に基づき適切に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員からの聞き取りにより実施した。

3 監査の期間

令和 4 年 10 月 20 日から令和 4 年 12 月 20 日まで（6 日間）

4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、概ね適正に執行されているものと認める。

町長部局、各委員会部局、
議会議務局等各係の監査内容（報告）

1 総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 総務係

議会招集及び提出議案の調整、儀式、交際、表彰、町勢沿革、行政区域、条例、規則等の制定、改廃及び整備、編さん並びに公告式、訴訟、審査請求の総合調整、許可、認可及び指令等、事務引継並びに事務報告、人権擁護、管理職会議、町村会、公平委員会に関することなどを業務としている。

許可・認可・補助の指令 121 件（前年対比 14 件減）、条例・規則・訓令の公布 111 件（前年対比 51 件増）、告示 29 件（前年対比 3 件増）を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 193 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,020 千円で調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 87,221 千円に対し、支出済額 37,295 千円、執行率 42.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 15 件 4,657 千円が支出済である。

(2) 職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修、職員団体、職員住宅、その他職員に関することを主な業務としている。

9 月末現在までの職員の新規採用 15 名、退職者 2 名、給与支給状況は 387,295 千円である。

健康管理としては、健康診断 132 名、人間ドック 117 名が受診し、職員研修では、町主催で人事評価制度研修会、新規採用職員研修を行っている。

職員住宅は、12 棟 42 戸を管理している。

予算執行状況は、歳入予算現額 4,842 千円に対し、調定額 5,984 千円、収入済額 3,890 千円で、調定対比 65.0%である。歳出は、予算現額 1,264,590 千円に対し、支出済額 596,377 千円、執行率 47.2%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 3 件 34,618 千円が支出済である。

(3) 契約管理係

建設工事に係る契約等、交通安全対策、福祉バス、町有車両（他課に属するものは除く。）の維持管理、町有車両の安全運転管理及び事故処理、防犯活動及び関係団体、道路運送車両法に基づく自動車臨時運行事務、その他交通安全に関することを主な業務としている。

●工事等契約執行状況

なお、9 月末現在の各種工事などの契約状況は次のとおりである。

工事区分	件数	契約金額	対比
土木工事関係	16 件（前年対比 4 件増）	237,028,000 円	（前年対比 24,871,000 円増）
建築工事関係	9 件（ " 2 件減）	671,099,000 円	（ " 14,173,500 円増）
委託事業関係	25 件（ " 13 件増）	155,778,700 円	（ " 80,560,700 円増）
合計	50 件（前年対比 15 件増）	1,063,905,700 円	（前年対比 119,605,200 円増）

物品購入関係 12 件（前年対比 5 件増） 102, 290, 925 円（前年対比 56, 217, 425 円増）

交通安全対策としては、春の全国交通安全運動などに伴い街頭指導や広報車、防災無線等により啓発活動を随時行っている。

交通安全指導員（26 名）の出動状況は、新型コロナウイルス感染予防対策により浜中うまいもん市、岬まつりの開催が中止となったが、交通安全運動旗の波啓発等 3 件の延べ 23 名の出動があった。また、平成 31 年 4 月 28 日に発生した交通死亡事故以降、町内の交通死亡事故ゼロ日数は 9 月末現在で 1, 251 日となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 15 千円に対し、調定額・収入済額ともに 111 千円、調定対比 100. 0%。歳出は、予算現額 19, 993 千円に対し、支出済額 7, 794 千円、執行率 39. 0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町交通安全協会運営費補助金ほか 3 件 1, 120 千円が支出済である。

（4）情報広報係

OA化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護、各種統計調査、行政一般の周知、広報紙の発行、町のホームページに関することを主な業務としている。

OA化の推進について、次期オフィスソフトの検証やネットワーク環境の無線化等の検討を進め、個人情報保護に関しても新規条例と個人ファイルの構築に向けて作業を進めている。なお開示請求件数が 1 件である。

今年度の基幹統計は、5 月に学校基本調査が実施されている。

毎月発行している「広報はまなか」や「浜中町ホームページ」、「防災無線」などを通じて情報を発信し、町民との情報の共有を図っている。またホームページを使った電子メールや町民との直接対話により、多くの意見や要望などを把握し、対応に努めている。

予算執行状況は、歳入予算現額 4, 118 千円に対し、調定額 94 千円、収入済額 91 千円、調定対比 96. 4%である。歳出は、予算現額 94, 386 千円に対し、支出済額 44, 955 千円、執行率 47. 6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 3 件 33, 306 千円が支出済である。

2 企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

（1）企画調整係

まちづくり総合計画、重要施策の企画及び総合調整、辺地計画及び過疎計画、地域振興事業等、人づくり事業、コミュニティ活動、広域行政及び広域事務組合、地域間交流、地域公共交通に関することなどを業務としている。

令和 2 年度から令和 11 年度までを計画期間とする「第 6 期浜中町まちづくり総合計画」は 3 年目

となっている。実施計画については、基本構想・基本計画を踏まえ、毎年ローリングを実施し、将来像達成のため、検討と評価を行いながら計画の管理し、また、「浜中町人口ビジョン」「浜中町創生総合戦略」についても令和2年度からの5ヵ年計画となることから、随時見直しを図るとともに目標達成のため計画の管理を行っている。

さらに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、町として取り組む事業を取りまとめ、実施計画の作成や国への交付申請事務を行っている。

辺地計画と過疎計画については、財政上の臨時措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け、除雪機械や農道の整備等を進め、令和4年度は茶内地区辺地、熊牛地区の総合整備計画の策定を行っている。

令和4年度における町の重点施策実現のため、関係官庁等に対して北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望活動を実施しているほか、高速道路や高規格道路の整備事業の早期実現に向け、釧路開発建設部、北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会等と連携を図り、要望活動に参加している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助を行う「地域振興補助」事業は、9月末現在で4事業1,123千円の補助決定を行っている。

コミュニティ活動の支援事業として、自治会連合会・単位自治会等と連携し、環境美化運動の推進や花いっぱい運動、新生活運動の推進を継続して行っている。加えて「コミュニティ助成事業」の取りまとめを行い、地域活動の活性化を図っており、今年度は霧多布中央会が本事業を活用し、踊衣装一式や祭飾り、電子機器などを整備している。

地域間交流として、移住・定住推進員の地域おこし協力隊1名が移住相談会に参加するなどの活動を行っている。お試し住宅は3月から9月末まで3組の利用があった。

地域・情報基盤等整備に関しては、光ファイバー整備が令和3年度末に整備が完了し、今年度は光回線の利用率が向上するよう、防災無線等による周知を行っている。

地域公共交通運行実績として、9月末までの乗車人数5,375人、収入額713千円となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額151,726千円に対し、調定額・収入済額ともに1,089千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額85,171千円に対し、支出済額31,047千円、執行率36.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、地域振興事業補助ほか11件4,561千円が支出済である。

(2) 財 政 係

予算の編成及び経理、支出命令、地方交付税、町債、一時借入金、決算に関することなどを業務としている。

本年度の起債予算計上額は20件883,418千円であり、この内、臨時財政対策債41,418千円が含まれている。令和3年度との比較では、予算計上額632,448千円減となっている。

普通地方交付税は交付決定額3,366,176千円となっている。

なお、令和4年度は、財政力指数3ヵ年平均21.8%（単年度21.5%）を見込んでいる。

(3) 管 財 係

公有財産の取得、管理処分、不用品の処分、財産台帳及び財産調書、その他管財に関することを主な業務としており、詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 14,545 千円に対し、調定額 16,363 千円、収入済額 11,064 千円、調定対比 67.6%となっており、歳出は、予算現額 88,579 千円に対し、支出済額 14,714 千円、執行率 16.6%である。

●町有財産の状況

○土地	総面積 40,003,950 m ² (うち山林面積 28,588,910 m ² 、立木推定量 304,076 m ³)		
○建物	総面積 113,800.18 m ² (うち木造 19,306.37 m ² 、非木造 94,493.81 m ²)		
○有価証券(株券)	1 件	1,000,000 円	
○出資金・出捐金	21 件	88,965,395 円	(うち出資金 11 件 66,973,395 円、出捐金 10 件 21,992,000 円)

●土地建物貸付関係

○土地(有償分)			
・宅地	71 件 (前年対比 1 件減)	23,035.36 m ² (前年対比 158.37 m ² 減)	1,780,940 円 (前年対比 16,900 円減)
・干場	70 件 (前年対比 2 件減)	85,262.90 m ² (前年対比 3,320 m ² 減)	1,173,380 円 (前年対比 53,930 円減)
・その他	97 件 (前年対比 1 件増)	146,338.99 m ² (年対比 5,491.07 m ² 減)	3,261,514 円 (前年対比 20,476 円増)
計	238 件 (前年対比 2 件減)	254,637.25 m ² (前年対比 8,969.44 m ² 減)	6,215,834 円 (前年対比 50,354 円減)
○土地(無償貸付分)			
	144 件 (前年対比 1 件増)	221,030.205 m ² (前年対比 771.695 m ² 増)	
○牧野			
	5 件 (増減なし)	298,502.00 m ² (増減なし)	184,610 円 (増減なし)
○建物			
	45 件 (前年対比 3 件増)	40 棟 (前年対比 1 棟減)	3,437,400 円 (前年対比 107,400 円増)

●土地借用関係

28 件 (うち無償 18 件)	212,507 m ² 165,978.29 m ²	借地料 1,137,297 円 (前年対比 59,552 円増)
---------------------	---	-------------------------------------

●財産の処分

○土地			
	1 件	1,823.99 m ²	売買額 1,767,445 円
○建物			
	1 件	490.12 m ²	解体
○土石			
岩石		18,081.0 m ³ (増減なし)	処分額 3,977,820 円 (増減なし)

○立 木

天然林・広葉樹

74 本

12,129 円

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか（共済責任額 9,544,109,000 円）

分担金 2,932,233 円

●町有施設保守管理委託状況

一般会計分として、消防用設備点検等（43 施設）4,143 千円、浄化槽保守点検（17 施設）1,074 千円、自家用電気工作物保安管理（16 施設）3,253 千円、暖房設備保守点検（16 施設）1,859 千円、地下タンク及び地下配管点検（11 施設）255 千円、排水再利用装置保守管理（4 施設）2,046 千円、昇降設備保守点検（3 施設）2,257 千円、煙道中の排ガス測定（4 施設）297 千円。これに浜中診療所特別会計分 4 件（消防用設備点検等、自家用電気工作物保安管理、暖房設備保守点検、地下タンク及び地下配管点検）499 千円を合わせた合計 118 施設 15,683 千円分の業務について委託契約を締結している。

3 税 務 課

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

（1）課 税 係・収 納 係

課税係は、町税の課税、町税に係る審査請求及び訴訟、固定資産評価審査委員会、固定資産の評価、固定資産等所在市町交付金及び納付金、固定資産課税台帳、その他課税に関することを主な業務にしている。

収納係は、町税の徴収、町税の督促及び滞納処分、その他徴収に関することを主な業務としている。

本年度の町税収納率は、9 月末現在で普通税の調定額 813,622 千円に対し、収入済額 508,486 千円で 62.5%、国保税は調定額 371,661 千円に対し、収入済額 103,615 千円で 27.9%の収納率となっており、前年対比では、普通税収納率 1.8%増、国保税収納率 5.8%減となっている。国保税収納率の低下の要因は、納期が 6 期（12 月）から 9 期（3 月）に変更になり、収納額が 9 期に分散されたことが考えられる。

なお、町民の利便性向上及び収納強化のため、町道民税・軽自動車税・固定資産税・国保税、各種税外金はコンビニ・郵便局で納付可能な体制を整備、実施しており、収納対策として有用な効果を発揮するよう今後も町民への周知を行うとともに、納付意識の向上に期待するものである。

また、町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自の収納が困難な滞納事案を抽出のうえ「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めており、各種税外金についても所管している部署との連携を図り、税外等収納対策委員会の開催や随時指導を行いながら収納業務に尽力している。

予算執行状況は、歳入予算現額 785,581 千円に対し、調定額 818,017 千円、収入済額 512,881 千円、調定対比 62.7%となっており、歳出は予算現額 33,107 千円に対し、支出済額 5,000 千円で、執行率 15.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金ほか 3 件 540 千円が支出済である。

4 住民環境課

住民環境課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 戸籍住民係

戸籍及び住民基本台帳、印鑑登録、諸証明、埋火葬の許可、犯罪人名簿、外国人住民に係る在留関連事務及び特別永住許可等、旅券事務、人口動態、電子署名に係る地方公共団体の認証業務、個人番号の指定及び通知並びに個人番号カードの交付等、総合案内等に関することを主な業務としている。

令和 4 年 9 月末現在の住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口 5,438 人（男 2,692 人・女 2,746 人）、世帯数 2,489 世帯となっており、前年対比で人口は 83 人減（男 18 人減、女 65 人減）、世帯数は 23 世帯の増となっている。

戸籍事務については、本庁で業務を一括して行い、各支所は証明書の交付のみを行っている。

各種証明の取り扱いは、全町で 4,836 件（うち無料分 1,163 件。全町前年対比 364 件増）、1,702 千円（前年対比 20 千円減）である。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,672 千円に対し、調定額・収入済額ともに 1,233 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 13,331 千円に対し、支出済額 4,248 千円、執行率 31.9%である。また、繰越明許費の歳入は、繰越額 2,728 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0%。歳出は、繰越額 2,728 千円に対し、支出済額 0 千円、執行率 0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道自治体情報システム協議会負担金ほか 2 件 736 千円が支出済である。

(2) 生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営、その他生活環境に関することを主な業務としている。

4 月～9 月末現在までの収入証紙売捌状況及び衛生センターの稼働状況、ごみ処理の状況に係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 41,663 千円に対し、調定額 17,568 千円、収入済額 17,160 千円、調定対比 97.7%となっており、歳出は、予算現額 223,131 千円に対し、支出済額 83,319 千円、執行率 37.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、資源物リサイクル活動奨励交付金ほか 3 件 2,401 千円が支出済である。

●収入証紙売捌・衛生センター稼働・ごみ処理の状況（4 月～9 月末）

○収入証紙売捌状況

90,475 枚、7,109,700 円（前年対比 5,960 枚減、373,800 円減）

○衛生センター稼働状況

し尿処理量 901.1kℓ（前年対比 12.9kℓ減増）
浄化槽汚泥等処理量 340.8kℓ（前年対比 111.8kℓ減）

○ごみ処理状況

可燃・不燃等・直接搬入・収集ごみ 800.94 t（前年対比 32.04 t 増）
資源物 256.32 t（前年対比 9.12 t 減）

（3）環境政策係

環境政策の企画調整及び調査研究、自然環境の保全、地域エネルギー、環境対策、土地利用に関することを主な業務としている。

自然環境の保全について、特定外来生物に指定されているオオハンゴンソウを霧多布湿原センターと共同で町内の生息地の確認を行い、3カ所で引き抜きによる駆除を実施した。また、再生可能エネルギー発電の申請は15件あった。

予算執行状況は、歳入予算現額9,317千円に対し、調定額・収入済額ともに0千円、調定対比0%となっており、歳出は、予算現額18,911千円に対し、支出済額136千円、執行率0.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道再生可能エネルギー振興機構負担金50千円が支出済である。

5 浜中支所

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

（1）戸籍住民係

戸籍及び住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬の許可、町税及び税外収入金の収納、国民健康保険及び国民年金などに関することが主な業務で、主査1名が配置されており茶内支所戸籍住民係の主事2名が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入調定額・収入済額ともに131千円で、調定対比100.0%である。歳出予算現額783千円に対し、支出済額274千円、執行率35.0%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税金	462件		5,244,400円
証明手数料	313件	24件	131,650円
介護保険料	26件		222,500円
後期高齢者医療保険料	18件		313,800円
清掃手数料	10件		46,200円
水道・住宅料ほか	308件		2,488,727円
合計	1,137件	24件	8,447,277円
	（前年対比 95件減）	（増減なし）	（前年対比 1,223,109円減）

6 茶内支所

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 戸籍住民係

戸籍及び住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬の許可、町税及び税外収入金の収納、国民健康保険及び国民年金などに関することが主な業務であり、主事 2 名のほか浜中支所戸籍住民係の主査 1 名が兼務発令され業務を遂行している。現金の取り扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 635 千円に対し、調定額 693 千円、収入済額 676 千円で、調定対比 97.5%となっており、歳出は、予算現額 7,379 千円に対し、支出済額 4,600 千円、執行率 62.3%である。

○現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税金	811 件		13,190,100 円
証明手数料	1,018 件	115 件	443,350 円
介護保険料	42 件		328,600 円
後期高齢者医療保険料	16 件		562,100 円
斎場使用料	14 件		225,000 円
コミュニティセンター使用料	20 件		835,500 円
清掃手数料	25 件		1,012,000 円
水道・住宅料ほか	651 件		4,847,895 円
合計	2,597 件	115 件	21,442,545 円
	(前年対比 305 件減)	(前年対比 11 件増)	(前年対比 2,698,696 円減)

7 保 険 課

保険課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 保険年金係

国民健康保険、後期高齢者医療、重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費、子ども医療費、国民年金に関することを主な業務としている。

国民健康保険に関しては、令和 4 年 9 月末現在で被保険者 1,055 世帯（前年対比 7 世帯減）2,283 人（前年対比 87 人減）が加入している。

国民健康保険制度の改正により、財政運営の責任は北海道が担い、保険証の発行や療養費等の申請、保険税の課税・徴収事務、保険事業は従来どおり浜中町が行うこととなった。保険給付に必要な費用は北海道が負担するが、その財源として市町村が北海道に対し、「国保事業費納付金」を納める方式となり、北海道は各市町村の医療費や所得等を基準に納付金の額を決定し、市町村はその納付

金の額に応じた保険税を課税することとなっている。浜中町においては前年所得をもとに、前年度の繰越金の一部を減税財源に充てるなど税率改正を行っている。

後期高齢者医療制度は、75歳以上と65歳から74歳で一定の障がいの状態のある者が対象であり、後期高齢者医療保険被保険者数は837名（うち75歳未満21名。全体数の前年対比7名増）である。

重度心身障がい者等に対し、医療費の一部を助成する各種医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業79名（障31名、障老48名。前年対比7名減）、ひとり親家庭等医療給付事業147名（前年対比9名減）、子ども医療給付事業646名（前年対比28名減）、浜中町精神障がい者医療費助成事業17名（前年対比1名増）の合計889名（前年対比43名減）となっており、必要に応じ、随時助成を行っている。

国民年金については、年金給付、資格得喪、免除申請等の各種申請の進達、日本年金機構釧路年金事務所等からの調査依頼への回答や定期的に福祉年金、障害年金に係る所得調査等を行っている。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額48,642千円に対し、調定額・収入済額ともに1,164千円、調定対比100.0%であり、歳出は、予算現額172,193千円に対し、支出済額51,198千円、執行率29.7%となっている。

国民健康保険特別会計の歳入歳出予算総額は1,237,655千円で、歳入予算の割合は、国民健康保険税29.80%、道支出金66.59%、その他収入で3.61%となっており、歳出は、保険給付費64.72%、国民健康保険事業費納付金32.97%、その他支出で2.31%となっている。

予算執行状況は、歳入は、調定額309,747千円、収入済額307,965千円で調定対比99.4%。歳出では、支出済額488,825千円で、執行率39.9%となっている。

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は78,563千円で、歳入では、調定額54,012千円、収入済額23,750千円で調定対比44.0%。歳出の支出済額は25,631千円で執行率32.6%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道クラウド運用負担金ほか4件1,557千円が支出済である。

（2）地域包括支援係

地域包括支援事業、介護予防事業、日常生活総合事業に関することを主な業務としている。

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防訪問介護をしゃきょう介護センターえぞふうろ、介護予防通所介護をデイサービスセンターハイツ野いちごに委託のうえ実施している。要支援者配食サービスは地域生活支援センター・ハート釧路及び町社会福祉協議会と委託契約を結び、9月末までに要支援に認定されている11名（延べ42名）に対し223回の配食を実施している。介護認定を受けていない高齢者等については「包括的支援事業」により配食サービスを7名（延べ35名）に対し419回実施している。加えて、介護予防事業として健康教室やハツラツ倶楽部わっはっは、ほのぼのくらぶなどを実施しているほか、脳トレのプリントを配布するのうちDE脳トレを60名（延べ339名）に対して実施している。

また、地域包括支援センター事業として、保険課及び関係機関（社会福祉協議会、診療所、野いちご、訪問看護ステーションなど）の担当者によるケア会議を隔週で開催しているほか、総合相談として、延べ367件（電話153件、来所37件、訪問179件）の介護保険に関することや自立支援サービスに関すること、医療との連携や状況・安否確認、福祉用具の購入や備品の貸出しに関する本人や家族、関係機関や民生委員等からの相談に対応している。

介護保険特別会計のうち地域包括支援係に関する予算執行状況は、歳出のみで予算現額 33,086 千円に対し、支出済額 20,289 千円、執行率 61.3%となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道在宅介護支援センター負担金 30 千円が支出済である。

(3) 介護保険係

介護保険、ケアマネジメントセンターに関することを主な業務としている。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第 1 号被保険者が 101 名、第 2 号被保険者（40 歳～64 歳）が 0 名の合計 101 名（前年対比 11 名減）である。

介護度別人数は、要支援 1（9 名）、要支援 2（17 名）、要介護 1（59 名）、要介護 2（49 名）、要介護 3（38 名）、要介護 4（47 名）、要介護 5（33 名）の合計 252 名となっており、そのうち施設入所または居宅サービスの利用人数は 207 名（前年対比 6 名増）である。

9 月末現在の介護保険料の収入状況は、調定額 102,294 千円に対し、収入済額 50,984 千円で、収納率は 49.8%となっており、前年対比 1.0%の増である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 7,310 円に対し、調定額・収入済額ともに 2,344 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 75,940 千円に対し、支出済額 293 千円、執行率 0.4%である。

介護保険特別会計の歳入歳出予算総額は 481,412 千円で、歳入予算現額 481,412 千円に対し、調定額 261,415 千円、収入済額 208,644 千円で調定対比 79.8%。歳出は、予算現額 448,326 千円に対し、支出済額 183,402 千円で執行率 40.9%となっている。（歳出の予算現額は、地域包括支援係への配当分を減じた額で記載。）

補助金、負担金及び交付金の状況は、国民健康保険保険者ネットワーク負担金 56 千円が支出済である。

8 健康福祉課

健康福祉課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 社会福祉係

生活保護、民生児童委員、障がい福祉、地域生活支援事業、在宅福祉サービス、高齢者福祉、災害救助を主に社会福祉に関することを主な業務としている。

生活保護の状況は、老人 29 世帯（32 名）、母子 3 世帯（8 名）、傷病 13 世帯（16 名）、障害 8 世帯（9 名）、その他 6 世帯（11 名）で、合計 59 世帯（被保護人数 76 名）、前年対比 6 世帯増（被保護人数 5 名増）である。

9 月末までの身体障害者手帳の交付状況は、新規交付 2 件、等級変更 3 件、再交付 1 件、住所変更 2 件、返還 8 件であり、手帳保有者は 247 名（うち重度障がい者数 109 名）前年対比 13 名減となっている。

町単独の敬老週間事業では、例年 8 月末日現在で対象者を選定し、満 88 歳の方 30 名（男 7 名、女 23 名）に 3 万円、満 99 歳の方 4 名（男 1 名、女 3 名）に 5 万円の敬老祝い金を 9 月末日までの間に

贈呈している。

日常生活用具貸付事業では、日常生活用具（ベッド 20 台、マット 20 枚、車椅子 11 台、エアーマット 1 枚、歩行器 1 台）の貸付、緊急通報装置の設置（貸付）30 台を行っており、高齢者バス利用助成事業では 100 円券 50 枚綴りの冊子の共通券とし、ハイヤーを選択肢に加えており、申請のあった 764 名に対して交付し、11,803 枚（バス 1,428 枚、JR 1,814 枚、ゆうゆ 3,659 枚、ハイヤー 3,180 枚、町営バス 1,731 枚）の利用があった。

また、自立支援ホームヘルプサービス事業（登録者 14 名）、外出支援サービス事業（登録者 78 名）については、浜中町社会福祉協議会に委託のうえ、登録者へ各サービスの提供を行っている。

なお、9 月末までに発生した火災 1 件に対し災害見舞金として 150 千円を支出している。

予算執行状況は、歳入予算現額 158,534 千円に対し、調定額 23,477 千円、収入済額 22,615 千円、調定対比 96.3%となっており、歳出は、予算現額 380,722 千円に対し、支出済額 199,150 千円、執行率 52.3%である。また、繰越明許費の歳入は、繰越額 24,593 千円対し、調定額・収入済額ともに 24,593 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は繰越額・予算現額 24,593 千円に対し、支出済額 18,421 千円、執行率 74.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、社会補助ほか 18 件 77,446 千円が支出済である。

（2）児童福祉係

児童、ひとり親家庭、要保護児童対策、児童手当、放課後児童クラブ、その他児童福祉に関することを主な業務としている。

15 歳到達後最初の年度末までが対象となる児童手当は、6 月支給分児童数が延べ 2,194 名（前年対比 88 名減）、支払額 23,225 千円（前年対比 680 千円減）である。

放課後児童クラブでは、児童 51 名（霧多布 26 名、茶内 25 名。前年対比霧多布 1 名減、茶内 3 名減）に対して 6 名の指導員を配置している。

予算執行状況は、歳入予算現額 79,002 千円に対し、調定額 36,353 千円、収入済額 36,333 千円、調定対比 99.9%となっており、歳出は、予算現額 89,312 千円に対し、支出済額 52,362 千円、執行率 58.6%である。また、繰越明許費の歳入は、繰越額 200 千円に対し、調定額・収入済額ともに 100 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は繰越額・予算現額 200 千円に対し、支出済額 100 千円、執行率 50%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、子育て世帯生活支援特別給付金ほか 2 件 3,420 千円が支出済である。

（3）健康推進係

健康増進、母子保健及び成人保健、歯科指導、栄養指導、感染症、その他疾病の予防、診療所に関することを主な業務としている。

母子対策では乳幼児の各種健診や相談事業に加え、産前産後サポート専門相談及び産前産後ケアを助産院マタニティアイに委託のうえ実施し、専門相談利用実績 28 件（前年対比 30 件減）、産前ケア利用が 3 名（前年対比 2 名減）、産後ケアはデイケア型を延べ 18 回、宿泊型を延べ 3 回、訪問型を延べ 0 回、8 名（前年対比デイケア型は 21 回減。宿泊型は 5 回減。訪問型は 1 回減。利用人数 1 名減）が利用している。

成人対策では特定健康診査や各種がん健診などを実施しており、子宮がん検診、乳がん検診につ

いては該当者にクーポン券を交付し、受診勧奨を行っている。

その他感染症対策として予防接種事業の実施やエキノкокクス症対策、広域救急医療対策としてティーベック株式会社委託の24時間電話相談可能な「浜中町健康・医療相談ダイヤル24」事業、栄養対策、歯科対策など、広く町民の健康維持・増進などに関わる保健事業等を実施している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 51,120 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0%となっており、歳出は、予算現額 123,133 千円に対し、支出済額 45,088 千円、執行率 36.6%である。繰越明許費の歳入は、繰越額 28,166 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0%となっており、歳出は繰越額・予算現額 28,166 千円に対し、支出済額 19,354 千円、執行率 68.7%である。

また、国民健康保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額 2,497 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円で調定対比 0%となっており、歳出は、予算現額 10,914 千円に対し、支出済額 4,342 千円、執行率 39.8%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、厚岸郡広域救急医療体制負担金ほか 6 件 19,546 千円が支出済である。

9 保 育 所

保育所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 保育業務係

保育業務、子育て支援センター、その他保育所に関することを主な業務としている。

常設の霧多布保育所（定員 140 名）及び茶内保育所（定員 80 名）は、定員 220 名に対して 126 名（前年対比 9 名減）の幼児が入所している。霧多布保育所は 52 名（5 歳児 11 名、4 歳児 18 名、3 歳児 7 名、2 歳児 11 名、1・0 歳児 5 名）の幼児に対し、保育士 13 名（前年対比増減なし）のうち 4 名は保育助手、管理栄養士 1 名、調理員 2 名の体制であり、茶内保育所は 74 名（5 歳児 18 名、4 歳児 12 名、3 歳児 20 名、2 歳児 13 名、1 歳児 9 名、0 歳児 2 名）の幼児に対し、保育士 15 名（前年対比増減なし）のうち 4 名は保育助手、調理員 3 名で対応している。

子育て支援センターでは 4 月 1 日から 9 月 30 日までの期間で延べ 672 名の利用に対して保育士 2 名が対応しており、一時預かり保育では 4 月 1 日～9 月 30 日までの期間で延べ 25 名に対し保育士 1 名が対応し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めている。

へき地保育所の運営については、散布・浜中・姉別の 3 ヲ所を開設し、幼児数 39 名（前年対比 4 名減）に対して保育士 7 名（前年対比 1 名増）で保育にあたっている。

また、保育所では避難訓練を実施しているほか、年次計画に基づく各行事については、新型コロナウイルス感染防止に考慮した行事に努めている。

予算執行状況は、歳入予算現額 46,058 千円に対し、調定額 8,357 千円、収入済額 4,045 千円、調定対比 48.4%となっており、歳出は、予算現額 120,466 千円に対し、支出済額 47,085 千円、執行率 39.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道社会福祉協議会会費（保育協議会）2 件 56 千円が支出済である。

10 防災対策室

防災対策室各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 防災係

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、消防、空家等対策、その他防災に関することを主な業務としている。

津波防災避難訓練については、5月24日津波防災避難訓練と防災講演会を実施し、避難訓練には755名、講演会には40名が参加した。また、8月には津波避難困難地域の避難対策検討会報告書に係る住民説明会を4地区で開催し48名が参加した。

空家等対策として、不良空家等除却補助の申請が9月末までに9件あり、うち2件は交付済である。

監査実施日現在、本町においては地震や停電、台風による被害は発生していないが、各種災害に関する町民への情報提供や防災意識の高揚を図る対策は継続して求められるものである。

予算執行状況は、歳入予算現額5,700千円に対し、調定額12,919千円、収入済額543千円、不納欠損額12,376千円、調定対比4.2%となっており、歳出は、予算現額354,605千円に対し、支出済額211,775千円、執行率59.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか3件205,505千円が支出済である。

11 商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 商工労働係

商工業の振興、商工団体、地場産品等の振興、中小企業、企業誘致、消費生活、計量器、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済、技能尊重運動及び事業内職業訓練等、その他商工業に関することを主な業務としている。

商工業の振興に資する地域経済活性化促進奨励補助事業は、9月末現在5件1,976,000円の申請があり、事業が完了した1件1,100,000円に補助を行い、経済対策地域応援券事業として、7月1日現在住民登録がある5,485人に対し、はまなか地域応援券10,000円の金券の配布を行った。

地場産品等の振興を目的として9月29日から10月1日までの3日間、さっぽろオータムフェスト2022「さっぽろ大通ほっかいどう市場」に参加し、本町の商品宣伝を図っている。

地域経済活性化促進事業補助として、電子地域通貨システムルパン三世 Pay 導入によるキャッシュレス運用に係わるポイント還元への助成を行っている。

労働業務としては、労働者の福祉・共済に向けた出稼手帳の交付（証明2件）を実施している。

また、商工業者の担い手確保に向けて平成29年度から開始している商工業後継者就業交付金事業による新規支援対象者は、9月末現在申請がない状況である。

予算執行状況は、歳入予算現額 47,663 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0.0%。歳出は、予算現額 135,205 千円に対し、支出済額 118,837 千円、執行率 87.9%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町商工会補助ほか 9 件 76,619 千円が支出済である。

(2) 観 光 係

観光の振興、自然公園の保全と利用、湿原センターの管理運営委託、霧多布湿原学術研究支援制度、その他観光に関することを主な業務としている。

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載ほか、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、釧路町・厚岸町・浜中町で形成される三町広域観光推進協議会、釧路町村会地域づくり広域プロジェクト事業へ参加・協力しており、各種観光パンフレットや資料などの配布を行っている。

地域活性化を目指すパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議、コレクションの展示、ラッピングバス運行事業、ホームページの更新等を実施している。またモンキー・パンチ・コレクションの 9 月末での来場者 4,156 人（前年対比 215 人増）である。

今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためうまいもん市、岬まつりは中止となった。

キャンプ場の利用状況では、有料であるバンガロー利用が 1,209 人、707 棟（前年対比 705 人増、428 棟増）となっており、無料のテント利用は 1,450 張、1,782 人（前年対比 816 張増、971 人増）である。

また、本年度は霧多布湿原学術研究支援制度による助成支援に 2 件の申請があり、有識者等による審査会の結果、2 件を助成対象として決定し、586 千円を交付している。

霧多布湿原センター管理運営委託に関しては、特定非営利活動法人「霧多布湿原ナショナルトラスト」に令和 2 年 4 月から令和 7 年 3 月まで指定管理委託が決定している。令和 4 年度開館日数 175 日、入館数 17,258 人（前年対比 12,063 人増）である。

予算執行状況は、歳入予算現額 769 千円に対し、調定額 1,244 千円、収入済額 1,228 千円で、調定対比 98.7%となっており、歳出は、予算現額 80,986 千円に対し、支出済額 61,088 千円、執行率 75.4%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか 14 件 47,339 千円が支出済である。

(3) ふるさと納税推進係

ふるさと納税に関することを主な業務としている。

ふるさと納税の 9 月末現在の状況は、15,843 件 259,693 千円（前年対比 3,828 件増、67,424 千円増）となっている。ふるさと納税推進に係る拡充・強化として、7 月に新規ポータルサイトの「さとふる」を開設し、PRパンフレットの刷新、特設サイトの新規製作を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 700,000 千円に対し、調定額・収入済額ともに 215,017 千円で、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 700,043 千円に対し、支出済額 118,363 千円、執行率 16.9%である。

(4) ふれあい交流・保養センター係

センターの管理運営、センターの利用拡大、その他ふれあい交流・保養センターに関することを主な業務としている。

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設であり、令和4年度は9月末現在で入浴者34,604人（前年対比12,975人増）、営業日数183日、1日平均190人が利用している。

また、管理運営等に関しては、霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクト（代表 株式会社クロエ）に平成30年10月から令和5年3月まで指定管理委託が決定している。

予算執行状況は、歳出予算現額64,542千円に対し、支出済額40,107千円、執行率62.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、ふれあい交流・保養センター管理運営負担金ほか1件21,367千円が支出済である。

（5）中山間活性化施設係

施設の管理運営、利用拡大、その他中山間活性化施設に関することを主な業務としており、会計年度任用職員4人が常勤し、係長は商工労働係長が兼務している。

中山間活性化施設（Moo-TToかぜて）は、農・漁業の生産物に付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内の多くの女性団体や個人、学校等が利用している。9月末現在の利用者並びに来館者は延べ1,941人（前年対比686人増）となっており、施設内の利用のほか敷地内の多目的広場やキャンプ場の活用を通じ、地域と都市の交流を図っている。

予算執行状況は、歳入予算現額534千円に対し、調定額334千円、収入済額332千円で、調定対比99.6%となっており、歳出は、予算現額14,892千円に対し、支出済額6,005千円、執行率40.3%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路地方食品衛生協会負担金ほか1件11千円が支出済である。

12 建設課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

（1）土木係

道路橋梁及び側溝の新設改良、道路橋梁の維持管理、土木車両の維持管理、土木工事、河川、土石及び砂利採取、都市計画、地籍、その他土木に関することを主な業務としている。

道路及び河川の占用許可数は、道路56件（前年対比20件減）、河川50件（前年対比27件増。許可した50件の内訳は土地34件、工作物12件、水利4件）となっている。

工事執行状況は、土木工事など7件（前年対比3件増）で請負金額83,666千円（前年対比15,686千円増）、調査設計等委託業務10件（前年対比5件増）で請負金額83,765千円（前年対比11,990千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額49,882千円に対し、調定額・収入済額ともに1,800千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額285,705千円に対し、支出済額33,374千円、執行率11.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道土木積算システム連絡協議会負担金ほか1件322千

円が支出済である。

(2) 建築係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、屋外広告物、建築物の設計及び施工管理、その他建に関することを主な業務としている。

本年度は、建築確認申請 0 件（前年対比 1 件減）、建設リサイクル法に係る通知 31 件（前年対比 3 件減）を 9 月末までに受理・受付している。

工事等の執行状況は、工事 5 件（前年対比 4 件減）で請負金額 185,350 千円（前年対比 380,006 千円減）、調査設計等委託業務 4 件（前年対比 1 件増）で請負金額 33,396 千円（前年対比 21,648 千円増）となっている。

安心住まいの促進事業は、9 月末現在 33 件（前年対比 15 件増）の申請があり、この事業に伴う金券発行額は 3,942 千円（前年対比 997 千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 521 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0% となっており、歳出は、予算現額 5,034 千円に対し、支出済額 2,278 千円、執行率 45.2% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、安心住まいの促進事業助成金 1,769 千円が支出済である。

(3) 住宅管理係

公営住宅の入居及び維持管理処分、公営住宅の建設計画、集会施設の維持管理に関することを主な業務としており、詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 195,429 千円、調定額 41,044 千円、収入済額 16,813 千円、調定対比 41.0% となっており、歳出は、予算現額 568,197 千円に対し、支出済額 132,801 千円、執行率 23.4% である。

●公の集会施設利用状況

公の集会施設（26 施設）は、延べ 438 回 10,260 人に利用され、前年対比で利用回数 39 回、利用人数 2,190 人の増となっている。

●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 12 団地、棟数 41 棟、保有戸数 213 戸。入居は 153 戸で 60 戸が空家となっており、このうち 6 戸は政策空家である。

町営住宅使用料の高額滞納に係る徴収等については、他の入居者との公平性を維持する視点からも多重債務者への対応は、町税等収納対策委員会や関係各課で情報共有を図り、今後も一層の債権回収に努められたい。また、引き続き町営住宅管理マニュアル（チェックマニュアル）等のルールに則った町営住宅の管理を期待するものである。

13 上下水道課

上下水道課の水道事業会計については、出納室同様、支払及びその記録等が例月出納検査により立証されているため、その他の業務について各係関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監

査した。

(1) 水道係

農業用水道、その他水道に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 82,537 千円に対し、調定額 43,663 千円、収入済額 43,470 千円、調定対比 99.6%となっており、歳出は、予算現額 87,917 千円に対し、支出済額 38,941 千円、執行率 44.3%である。

○使用料収入状況	調定額	収入済額	収納率
農業用水	41,239 千円	41,046 千円	99.5%

(2) 下水道係

主に下水道及び集落排水事業に関することを主な業務としている。

本年度の工事等の執行状況は、公共下水道工事 4 件（前年対比増減なし）で請負金額 78,936 千円（前年対比 38,203 千円減）、農業集落排水工事 1 件（前年対比 1 件減）で請負金額 1,100 千円（前年対比 1,119 千円減）、漁業集落排水工事 0 件（前年対比 1 件減）で請負金額 0 千円（前年対比 638 千円減）、調査設計等委託業務 2 件（前年対比増減なし）で請負金額 7,689 千円（前年対比 14,861 千円減）となっている。

受益者分担金収入状況について、調定額 1,970 千円、収入額 1,152 千円、収納率 58.5%（前年対比 2.3%減）。下水道使用料について、調定額 32,664 千円、収入額 30,157 千円、収納率 92.3%（前年対比 2.0%増）。

下水道事業特別会計の歳入歳出予算総額は 420,359 千円で、歳入は、調定額 41,862 千円、収入済額 38,536 千円、調定対比 92.1%。歳出は、支出済額 148,024 千円、執行率 35.2%となっている。

なお、歳出において、一般会計から下水道事業特別会計への繰出金として 260,788 千円が予算化されているが、9 月末現在での繰出しは行われていない。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道土木積算システム連絡協議会ほか 9 件 921 千円が支出済である。

14 水産課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 漁政係

水産業関係団体、漁業制度資金、漁業生産構造、水難救護、漁業の担い手確保、沿岸漁業の振興、船員法、水産物の流通加工及び衛生管理、津波防災ステーションの管理運営、水産統計に関することなどを主な業務としている。

漁業機器等購入資金貸付事業では、0 件（前年対比増減なし）で、その償還状況は、歳入予算現額 2,410 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0%となっている。

また、漁業の担い手確保に向け、漁業後継者就業交付金事業による支援対象者として 13 名を継続

承認している。道立漁業研修所総合研修受講補助は、申請者がいない状況である。

なお、海岸保全に関することとして、高潮・津波・浸食等による町民の生命・財産を守るため、今年度は、漁港整備計画及び利用に関することとして、水産基盤整備計画に基づき散布漁港、琵琶瀬漁港の改修を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 16,647 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0% となっており、歳出は、予算現額 63,068 千円に対し、支出済額 12,142 千円、執行率 19.3% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、漁業近代化資金利子補給ほか 7 件 1,615 千円が支出済である。

●登録漁船数、陸揚量、陸揚金額の状況等（港勢調査の概要（令和 2 年分）より）

対象漁港：散布、琵琶瀬、榊町、浜中（奔幌戸）、浜中（貫人） 5 漁港

登録漁船数 587 隻 陸揚量 6,422 t 陸揚金額 2,133,720 千円
 （前年対比 33 隻減） （前年対比 370 t 減） （前年対比 119,734 千円減）

●漁業近代化資金利子補給承認状況

（単位：円）

	浜中漁業協同組合		散布漁業協同組合		合 計	
	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額
1号資金	6	5,090,000	1	1,000,000	7	6,090,000
2号資金	1	4,840,000	-	-	1	4,840,000
3号資金	-	-	1	5,000,000	1	5,000,000
4号資金	-	-	1	560,000	1	560,000
合 計	7	9,930,000	3	6,560,000	10	16,490,000
前年対比	0	△5,180,000	1	3,270,000	1	△1,910,000

（2）水産振興係

水産業に係る環境保全、栽培漁業、沿岸漁場の整備開発、水産業に係る試験研究の調整、漁業技術の改良普及、水産資源の管理、その他水産の振興に関することを主な業務としている。

本年度は、平成 29 年度より整備している新川船揚場整備事業で右側延長 37.8m を鋼矢板、上部コンクリート工事を行っているほか、琵琶瀬瀬戸及び新川航路の航路掘削工事を実施している。

栽培漁業については、関係機関との連携協働のもと推進を図り、ウニ種苗生産センターが供用開始となり、施設の運営は浜中町ウニ種苗センター運営委員会に委託している。

また、浜中・散布漁協が実施するマツカワ種苗購入事業に対して水産振興基金を財源に補助を行い、近年大雨被害を受けやすい散布養殖施設については、町水産振興連絡協議会・養殖部会・散布漁協で塩分計を購入し、降雨による火散布沼への塩分濃度の影響について調査を行い、大阪公立大学等と共同で今後の対策を検討しており、年度内に塩分低下対策講演会の開催を予定している。令和 5 年 3 月には水産物付加価値向上を目的に、ブランド化や販売促進活動への支援として札幌市（ポールスター札幌）での物産展を開催予定である。

予算執行状況は、歳入予算現額 6,261 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円で、調定対比 0%。歳出は、予算現額 130,689 千円に対し、支出済額 4,009 千円、執行率 3.1% となっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、水産資源環境整備事業負担金ほか 4 件 182 千円が支出済で

ある。

(3) 港 湾 係

港湾、国土交通省港湾局所管に係る海岸保全に関することを主な業務としている。

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用件数 10 件（前年対比件数増減なし）、物揚場・岸壁使用件数 188 件（前年対比 8 件減）、漁船捲揚施設使用件数 25 件（前年対比 8 件減）、船揚場使用件数 39 件（前年対比 13 件減）となっており、合計は 262 件（前年対比 15 件減）である。

本年度は霧多布港整備事業計画により、事業費 133,560 千円、町負担 20,034 千円で防波堤（北）の整備を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 6,974 千円に対し、調定額 3,469 千円、収入済額 1,920 千円、調定対比 55.3%となっており、歳出は、予算現額 33,689 千円に対し、支出済額 3,586 千円、執行率 10.6%である。繰越明許費は歳出のみで繰越額・予算現額 2,057 千円に対し、支出済額 2,057 千円、執行率 100.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道港湾協会負担金ほか 1 件 321 千円が支出済である。

15 農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 農 政 係

農業関係団体、農業後継者、新規就農者の誘致及び育成、産業振興資金貸付（家畜購入）、農業関係制度資金、家畜防疫対策、その他農業に関することなどを主な業務としている。

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 9,000 千円に対して 2 件 5,291 千円の申請があり、新規貸付を行っており、本件に係る償還は令和 6 年度から令和 9 年度までの 4 ヶ年となっている。また、9 月末現在におけるこれまでの貸付金の償還状況は、調定額 2,993 千円に対し、償還済額 250 千円、償還率 8.4%となっている。

なお、農業の担い手確保に向けた農業後継者就業交付金事業による支援対象者は、前年対比 3 人減の 2 人分を予算化している。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,270 千円に対し、調定額 2,993 千円、収入済額 250 千円、調定対比 8.4%となっており、歳出は、予算現額 76,033 千円に対し、支出済額 16,589 千円、執行率 21.8%である。また、繰越明許費の歳入は、繰越額 1,626,310 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0%となっており、歳出は、繰越額 1,638,852 千円に対し、支出済額 11,539 千円、執行率 0.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、（有）浜中町就農者研修牧場負担金ほか 9 件 20,921 千円が支出済である。

(2) 農業振興係

農業振興地域整備計画、土地改良事業、農村環境、日本型直接支払交付金事業、その他農業基盤整

備に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 132,094 千円に対し、調定額・収入済額ともに 85,469 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 192,898 千円に対し、支出済額 125,516 千円、執行率 65.1%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、中山間地域等直接支払交付金ほか 4 件 124,306 千円が支出済である。

(3) 林 務 係

町有林の整備及び管理、民有林の経営指導、治山事業、林業関係団体、林野火災予防、鳥獣保護、有害鳥獣の駆除、林道、緑化事業、保安林、その他林業に関することを主な事務としている。

町有林整備事業では、人工造林、下刈等について、予算額 35,094 千円のところで、9 月末日までに各事業合計 31,952 千円で契約のうえ実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 78,456 千円に対し、調定額 15,627 千円、収入済額 14,745 千円、調定対比 94.4%となっており、歳出は、予算現額 105,331 千円に対し、支出済額 47,974 千円、執行率 45.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、浜中町鳥獣被害防止対策協議会負担金ほか 7 件 1,501 千円が支出済である。

16 町立浜中診療所

町立浜中診療所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 総務係・医事係

総務係は、職員の進退及び服務、諸給与及び共済、条例、規則、規程等、職員の保健及び福利厚生、公印管守、予算編成及び財政計画、財産管理及び物品の購入等、自動車の使用管理、その他、他係に属さないことに関することを主な業務としている。

医事係は、患者の診察受付及び入退所、診察報酬の請求及び収納、診察契約、診療録の整理及び保管、患者の諸証明、患者の福利厚生、医事統計、報告、申請、届出、薬剤の調合及び製剤、薬品の保管及び受払に関することなどを主な業務としている。

浜中診療所特別会計における歳入歳出予算総額は 273,013 千円で、歳入予算の構成割合は、診療収入 32.1%、使用料及び手数料 6.8%、繰入金 54.7%、諸収入 0.3%、町債 6.2%である。診療収入は前年対比 1%減になっており、依然として一般会計からの繰入金等（繰入金と町債で歳入全体の 60.9%を占めている。前年対比 2.3%増。）が多く、経営上厳しい状況であることに変わりはない。

歳出の予算構成割合では、総務費 86.5%（総務費の構成割合は、浜中診療所維持管理に要する経費 8.4%、浜中診療所運営に要する経費 91.6%。）、医業費 9.0%（医業費の構成割合は、医業に要する経費 81.3%、入院患者等寝具に要する経費 4.5%、入院患者等給食に要する経費 14.1%）、公債費 4.4%となっており、歳出予算のうち大きな割合を占めるのは、報酬、給料、職員手当等、共済費、医師報償費で 70.6%となっている。

経営状況は、9 月末現在の医業収益で前年対比患者数 784 名、金額で 5,352 千円の増が認められ

る。増加の主な要因は、新型コロナワクチン接種に係るものである。

予算執行状況は、歳入では、調定額 63,331 千円に対し、収入済額 63,150 千円、調定対比 99.7% となっており、歳出は、支出済額 121,885 千円で、執行率 44.6% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか 1 件 192 千円が支出済である。

17 出 納 室

現金の収入保管、支払及びその記録等については例月出納検査により立証されているため、その他の事務について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 出 納 係

現金（現金に代えて納付される証券並びに基金に属する現金及び歳入歳出外現金を含む）の収入保管並びに支払及びその記録、支出命令の審査、支出負担行為の確認、歳入歳出決算の調整、小切手の振出、有価証券（公有財産又は基金に属するものを含む）の出納保管、財産の記録、管理、帳簿、証書類の保管、その他、収入、支払に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 100 千円に対し、調定額・収入済額ともに 5 千円、調定対比 100.0% となっており、歳出は予算現額 1,805 千円、支出済額 813 千円で、執行率は 45.0% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、指定金融機関である大地みらい信用金庫に対し、派出窓口業務負担金 540 千円が支出済である。

18 教育委員会

教育委員会各課・係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 管 理 課

① 総 務 係

教育委員会の会議、事務局及びその他の教育機関の職員の任免その他人事、教育員会規則及び規程の制定又は改廃、公印の管理、文書の收受、発送及び保管、表彰及び儀式、渉外、請願及び陳情、奨学資金に関する事などを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,785 千円に対し、調定額 118 千円、収入済額 102 千円、調定対比 86.3% となっており、歳出は、予算現額 21,871 千円に対し、支出済額 10,981 千円、執行率 50.2% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村教育委員会連絡協議会負担金ほか 1 件 210 千円が支出済である。

●奨学金給付状況

大学生・短大生	1人（前年対比 3人減）	月額 11,000円（前年同額）
専門学校生	1人（前年対比 1人増）	月額 11,000円（ 〃 ）
高校生	19人（前年対比 4人増）	月額 5,500円（ 〃 ）
合 計	21人 年額 1,518,000円	（前年対比 2人増、増減なし）

② 学校教育係・指導室

学校教育係は、教職員の人事、学校の設置及び廃止、学校施設及び教職員住宅の管理、学校施設の使用許可、学校図書館、教科書その他の教材の取扱、教具、教材の充足計画及びその実施、児童生徒の就学及び転出入等、通学区域、スクールバスの運行・管理及び委託、就学援助に関することなどを主な事務としている。

指導室は、学校における教育課程、学習指導、その他学校教育に関する専門的事項の指導事務、教職員の研修に関することを主な業務としている。

なお、9月末日現在の児童生徒数は下表のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 12,435千円に対し、調定額 7,005千円、収入済額 4,466千円、調定対比 63.8%となっており、歳出は、予算現額 286,643千円に対し、支出済額 84,537千円、執行率 29.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか 14件 6,597千円が支出済である。

●町内各学校の状況

学校名		児童数	生徒数	学級数	教員数	備 考
小学校	霧多布	71名		9	15名	
	浜 中	47名		7	15名	
	茶 内	99名		9	14名	
小 中併置校	散 布	24名	9名	6	13名	
中学校	霧多布		50名	6	15名	
	浜 中		10名	2	7名	
	茶 内		43名	6	14名	
合 計		241名	112名	45	93名	

●要保護及び準要保護児童生徒の状況

小学校	要保護 1名、準要保護 42名（前年対比 要保護 1名減、準要保護 5名増）
中学校	要保護 4名、準要保護 14名（前年対比 要保護 2名増、準要保護 11名減）
合 計	要保護 5名、準要保護 56名（前年対比 要保護 1名増、準要保護 6名減）

●教員住宅使用状況 小・中学校合計 71戸（うち老朽戸数 21戸） 調定額 4,843千円

(2) 生涯学習課・総合文化センター

① 社会教育係・総合文化センター係

社会教育係は、生涯学習の推進及び調整、学習相談及び資料の収集・提供、社会教育施設の設置、管理及び廃止、成人教育、青少年教育及び青少年問題、芸術文化の振興、文化財の保存・活用に関することを主な業務としている。

総合文化センター係は、芸術・文化活動の練習、発表の場及びレクリエーション等の利用、各種研究会・講座等の開設及び場の提供、図書の貸出し等の事業、郷土資料等の活用及び保存、住民の集会、その他の公共的利用、その他、センターの目的達成に必要と認める事項に関することを主な業務としている。係長1名、学芸員の主査1名、社会教育主事1名が2つの係を兼務している。総合文化センター係については、図書館司書の有資格者1名を会計年度任用職員として雇用している。

総合文化センター利用状況はコロナウイルスワクチン接種会場として多目的大ホールを使用し、またモンキー・パンチ・コレクション、宮川博元記念ギャラリーがあり、作品の展示を行っている。

社会教育係の予算執行状況は、歳入予算現額1千円に対し、調定額・収入済額0千円、調定対比0%。歳出は、予算現額13,991千円に対し、支出済額1,886千円、執行率13.5%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、地区青少年健全育成会補助ほか7件754千円が支出済である。

総合文化センター係の予算執行状況は、歳入予算現額289千円に対し、調定額121千円、収入済額119千円、調定対比98.6%。歳出は、予算現額61,687千円、支出額21,618千円、執行率35.0%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道公民館協会負担金ほか2件54千円が支出済である。

●総合文化センター利用状況

開館日数155日、利用件数332件、利用者数17,869人（前年対比102件増、915人増）

●総合文化センター図書貸出

利用者数810人（夜間126人） 前年対比150人増（夜間40人増）

貸出冊数2,854冊（夜間634冊） 前年対比234冊増（夜間153冊増）

その他の実績（団体）3件142冊

（宅配図書）32件707冊

※ 毎週火曜日と木曜日の夜間開放を継続している。

② スポーツ係

社会体育施設の設置、管理及び廃止、スポーツ推進委員及びこれらの会議、スポーツ団体の振興、スポーツ関係資料の収集及び提供、スポーツ及びレクリエーションの普及、スポーツ指導員の養成、講習会等の開設及び奨励、その他スポーツに関することを主な事務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額487千円に対し、調定額274千円、収入済額267千円、調定対比97.4%となっており、歳出は、予算現額66,503千円に対し、支出済額27,241千円、執行率41.0%である。

なお、各体育施設等の利用状況の詳細については下記の「各施設利用状況」のとおりとなっている。

補助金、負担金及び交付金の状況は、町スポーツ協会補助ほか8件2,215千円が支出済となっており、9月末現在ではスポーツ振興補助として中学校2校（霧多布、茶内）と霧多布高等学校から大会出場に伴って延べ7件の申請があり、936千円を支出している。

●各施設利用状況

社会体育施設等名称		開館・開放日数	利用者総数 (団体・個人含む延べ数)	前年対比
屋 内	浜中町総合体育館	155日	4,418人	560人増
	農業者トレーニングセンター	152日	2,785人	108人増
	浜中町民温水プール	132日	1,664人	31人減
	すくらむ21	154日	842人	220人増
	(小計)	-	9,709人	857人増
屋 外	総合グラウンド	120日	682人	180人増
	霧多布スポーツ広場	120日	291人	201人増
	農村運動広場	120日	164人	118人増
	町民パークゴルフ場	129日	1,173人	180人増
	(小計)	-	2,310人	679人増
学 校 開 放 外	霧多布小学校	14日	135人	135人増
	西円地域体育館	25日	211人	14人増
	(小計)	-	346人	149人増
合 計		-	12,365人	1,685人増

(3) 霧多布高等学校

①管 理 係

高等学校予算・経理、教職員の給与、教職員の福利厚生(共済・互助会)、学校施設(校舎・グラウンド・教員住宅)の管理、高等学校授業料等の収納、高等学校の物品の調達及び管理、スクールバスの管理運行、一般事務、その他高等学校に関することを主な業務としている。

生徒のスキルアップに繋がる基礎学力診断テスト、文章デザイン検定、日本漢字能力検定などを受験する生徒に対し受験費用を9月末では延べ177名に対して補助を行っている。

なお、9月末日現在の生徒数は下表のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額11,640千円に対し、調定額10,241千円、収入済額1,574千円、調定対比15.4%となっており、歳出は、予算現額77,675千円に対し、支出済額26,151千円、執行率33.7%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、国内視察研修負担金ほか6件3,123千円が支出済である。

●学校の状況

学年	生徒数	学級数
1 学年	24 名	2
2 学年	19 名	1
3 学年	26 名	2
合 計	69 名	5

(4) 学校給食センター

①総務係・業務係

総務係では、給食センターの管理運営、職員の衛生管理及び福利厚生、給食センターの衛生管理、配送車の管理運営などに関することを主な業務としている。

業務係は、給食物資の調達、給食物資の受払及び保管、給食の献立及び調理、供給配送など給食業務に関することを主な業務としている。

センターの運営については、調理員 7 名を会計年度任用職員として雇用し、9 月末現在の給食実施状況は、供給日数 102 日で 52,519 食となっている。今年度から学校給食費会計が私会計から公会計に変更になっている為、歳入歳出の予算が増加している。

予算執行状況は、歳入予算現額 7,922 千円に対し、調定額 6,624 千円、収入済額 4,222 千円、調定対比 63.7%となっており、歳出は、予算現額 104,426 千円に対し、支出済額 35,100 千円、執行率 33.6%である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、学校給食費助成金ほか 2 件 164 千円が支出済である。

19 議会事務局

議会事務局各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 議事係・庶務係

議事係は、本会議、常任委員会、特別委員会、公聴会、議案の取扱い、議決及び決定事項の通知並びに報告、議員の出欠席、議場の整理及び傍聴、請願及び陳情、会議録に関することを主な業務としている。

庶務係は、文書、公印の管理、儀式・交際及び接遇、議員の身分、官公署各団体との連絡、職員の人事・給与・服務及び研修、予算の経理及び物品の購入、出納保管、議員報酬及び費用弁償、関係条例・規則等の整備、議長会に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 58,502 千円に対し、支出済額 28,469 千円、執行率 48.7%となっており、主な支出は、議会議員に要する経費の報酬及び手当 14,922 千円、共済費 6,430 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、管内町村議会議長会負担金 348 千円が支出済である。

20 監査委員事務局

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 監 査 係

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 2,770 千円に対し、支出済額 1,182 千円、執行率は 42.7% となっており、主な支出は監査委員報酬の 843 千円である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村等監査委員協議会運営費負担金 11 千円が支出済である。

21 選挙管理委員会

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 事 務 局

今年度は、7 月 10 日参議院議員通常選挙が実施された。

予算執行状況は、歳入予算現額 16,540 千円に対し、調定額・収入済額ともに 6,364 千円、調定対比 100% である。歳出はで予算現額 17,145 千円に対し、支出済額 8,931 千円、執行率 52.1% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、釧路町村選挙管理委員会連合会負担金 9 千円が支出済である。

22 農業委員会

農業委員会各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 農政係・農地係

農政係は、委員会業務の総合企画運営、文書の收受、発送及び整理、保存、予算の経理及び物品の出納保管、条例、規則、その他例規、公告式、委員会の会議、農地等利用最適化推進施策の企画立案及び意見の提出、委員の選任、農業後継者・担い手対策、農業者年金事務に関することを主な業務としている。

農地係は、農地法による事務、自作農創設維持、農地等の交換分合及びこれに付随すること、農地等の利用関係のあっせん、調整、登記事務、農地保有合理化促進事業、農地所有適格法人、農地台帳、その他、法令によりその権限に属することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 10,169 千円に対し、調定額 1,557 千円、収入済額 1,541 千円、調定対比 99.0% となっており、歳出は予算現額 14,797 千円に対し、支出済額 5,659 千円、執行率 38.2% である。

補助金、負担金及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか 1 件 232 千円が支出済である。

●農地法許可関係

農地法第3条	(売買)	5件	1,011,318 m ²	(前年: 9件 1,676,530 m ²)
〃	(贈与)	0件	0 m ²	(前年: 0件 0 m ²)
〃	(賃貸借)	14件	3,633,395.89 m ²	(前年: 8件 2,404,694 m ²)
〃	(使用貸借)	5件	2,517,901.93 m ²	(前年: 5件 2,863,816 m ²)
農地法第4条	(農地転用)	3件	16,978 m ²	(前年: 4件 26,838.50 m ²)
農地法第5条	(農地転用)	2件	8,154 m ²	(前年: 0件 0 m ²)

●農地保有合理化事業 (買入)	0件	0 m ²	(前年: 0件 0 m ²)
(売渡)	0件	0 m ²	(前年: 0件 0 m ²)

●農地中間管理事業	0件	0 m ²	(前年: 0件 0 m ²)
-----------	----	------------------	----------------------------

●農業経営基盤強化促進事業

担い手農地利用調整事業 (賃貸借)	5件	1,645,603 m ²	(前年: 1件 627,340 m ²)
〃 (所有権移転)	1件	763,528 m ²	(前年: 7件 1,603,153.68 m ²)
〃 (利用権移転)	0件	0 m ²	(前年: 1件 132,035.85 m ²)
利用権設定等促進事業 (賃貸借)	7件	765,916 m ²	(前年: 6件 631,234 m ²)
〃 (所有権移転)	4件	465,256 m ²	(前年: 5件 899,484 m ²)
〃 (利用権移転)	5件	309,992 m ²	(前年: 0件 0 m ²)

●利用集積計画公告件数

公告内容	件数	面積
所有権移転	5件	1,228,784 m ²
賃貸借設定	12件	2,411,519 m ²
利用権移転	5件	309,992 m ²

●土地の現況証明願件数

52筆 398,241.11 m²
 (内訳: 地目変更 39筆、地目確認 13筆)

●農業者年金申請等の状況（受給者数 154名）

裁定請求（新制度）	5件（内訳：老齢年金3件、特例付加年金2件）
〃（旧制度）	2件（内訳：老齢年金2件、経営移譲年金0件）
未支給年金請求	0件
新規加入	3件
資格喪失	1件
任意脱退	1件
その他届出	16件

●農地所有適確法人数

23法人（前年対比4件増）